



友愛の森(二中だより)

学校教育目標

二中文化を創造する生徒

学びが深まる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造

令和7年3月3日発行

3月



「してあげる幸せ」

寒さの中に春の気配を感じる頃となりました。学校の周りを歩いていると、風のにおいの変化や木々のつぼみの膨らみを見つけることができます。

この1年間で強く感じたことは、保護者と地域の皆様の、本校の教育活動に対する期待の大きさと学校への無償の愛情です。PTA奉仕作業、希翔祭運動の部・文化の部、3年生の面接練習、特別支援学級の畑づくり、校内研究授業時の生徒の見守り等、たくさんの御協力と愛情あふれるご指導をいただき、心より感謝申し上げます。

19日には、修了式、卒業式を迎えます。生徒たちには、一日一日を大切にして、クラスの仲間や先生と、多くの思い出を作ってほしいと思います。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

3月の朝礼では、次のような話をしました。

人生には3つの幸せがあるとされます。

1つ目は「してもらう幸せ」です。人は赤ちゃんの時から、「何かをしてもらおうと嬉しい」という幸せの感覚をもつそうです。

2つ目は「できるようになる幸せ」です。「体育で開脚前転ができるようになる」「数学で方程式が解けるようになる」それは、今までできなかったことが「できるようになる幸せ」を感じる時です。これは、自己肯定感にもつながる大切な喜びです。

そして、**3つ目は「してあげる幸せ」**です。「家族の手伝いをしてあげる」「困った友達を助けてあげる」そのことで、家族や友達が喜び、人が喜ぶ姿や喜んだ顔を見ることで、自分も幸せになります。「してあげる幸せ」を感じるようになると、思いやりの心がますます広がって、もっと幸せが深まります。

二中の生徒たちにも「してあげる幸せ」を感じている人がたくさんいます。褒められることを意識しない、相手に向けたやさしい思いやりの行動こそ、周囲の人を喜びに包む「してあげる幸せ」です。

3つ目の幸せを感じるようになると、どんどん人生はよくなっていきます。どうして良くなっていくかというと、この**「してあげる幸せ」**のできる人の周りには、とても善良な**「人のいい」**人たちが集まってきて、そのいい人たちと人生を送ることができるようになるからです。

生徒会本部役員主催の防災訓練（2月4日実施）



本校では、年に4回の防災訓練が計画されています。毎年、4回目は生徒会本部役員が企画運営する防災訓練を行っています。今年度は、地震が発生した際に「教職員がいない」「生徒だけで避難するしかない」といった条件設定をして行いました。災害は、いつ、どこで起きるかわかりません。いつでも「自分たちで自分たちの命を守る」ことができるよう、訓練を行っています。

第2回学校評議員会（2月6日実施）

今年度2度目の学校評議員会が実施されました。今回は、支援級の学習発表会の練習も参観していただきました。学校評議員の皆様からは、今後の教育活動をより良いものにできるたくさんのご助言をいただきました。本校の強力な応援団で、とっても頼りになる皆様です。

いただいたご助言を基に、来年度も、グランドデザインの具現化を目指し、生徒の皆さんを中心として多くの方々のウェルビーイングに貢献できるよう、教育活動を進めていきます。



1年生森林講座・薪割り体験（2月6日実施）



1年生が、森林講座で薪割りを体験しました。昔は、各家庭でも風呂などに薪を使ってましたが、今では、薪を割る、薪で火をおこすといった体験を生活の中ですることはなかなかできません。生徒たちは、友達と協力しながら、薪割りを楽しんでいました。自分たちで作った薪は、来年度の自然教室で使う予定です。

2年生富士山学習中間発表会（2月18日実施）



今年度、富士宮第二中学校では、様々な学習の場面で「情報分析力」を高めていくことを目標としてきました。富士山学習では、自ら設定した問いに対して仮説を立て、たくさんの資料や地域の方々にお教えいただいたことを分析して、自分の課題を解決できるようにしていかなければなりません。2年生は、来年度の発表に向けて、ここまでに追究してきたことをまとめ、中間発表しました。友達の発表を見たり聴いたりすることで、自分の追究に新しい情報がコラボされるとより学びが深まると思います。これからの時代に必要な力を中学校で身に付けてほしいと願っています。